

細分化が進む社会をつなぐ研究

地産野菜のもったいないをビジネスに



情報学部 情報学科

アハラリ・アリレザ 准教授

私は様々な産学官連携研究プロジェクトに参加しています。専門分野の細分化が進む現在、幅広い知識を実社会に活用可能な技術へと転換していくことが大事だと考えているからです。今回はその研究の1つで、現在進行開発中の研究システムを紹介します。それは、①規格外として捨てていた野菜、②食材を安く仕入れて料理をPRしたい飲食店、③安心安全な野菜を求める消費者、の3者を結びつけたサイト（システム）です。例えば、消費者が「肩こり」「風邪ぎみ」等の体調を入力すると、ビタミンやカルシウム等“体調に応じた栄養素を含んだ県産野菜を使った料理店を紹介”してくれる、農家は今まで捨てていた“規格外の野菜”を含む売りたい野菜情報を入力し販売できることで新たな収入源が加わる、飲食店は卸売業者を通さず“県内の安心安全な野菜を安く仕入れる”ことができる、と地域住民にとって便利で安心なシステムを生み出すことになります。私の夢は、世界中の人を幸せにする技術をたくさん開発して、その一部でも自分の手で届けることです！